

木漏れ日の檻

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



ここで暮らす
子供たちの間で
囁かれている
一つの噂がある



山の中に建つ
小さな孤児院

ヘファールハット



あの…僕っ

左右の木の
間から差し込む
光に照らされた
この場所で

想いを
告げ合った
二人は…



教室の裏手…
一つだけ抜けている
植木の前



院を出ても
離れ離れに
なることは無く

ニーナのことが…
好きだ！

生涯を
共にすることが
出来る…と

僕がこの孤児院に
引き取られたのは
5年前

ようしくねっ

年上のニーナに
面倒見の良かった
姉の姿を重ねていたの
かもしれない

強盗に家族を殺され
心を閉ざして
しまっていた僕に

諦めずに何度も
話しかけてくれた
女の子…それが
ニーナだった

僕は次第にニーナに
心を開いていき…
いつしか恋するようにな
っていた

ニーナは僕の事
まだまだ子供だっ
て思ってるかも
しれないけど…

院を出て働いて…
立派になったらまた
ニーナと一緒に
暮らしたい…！

僕が絶対に
幸せにするから…

リク…

だから…
その…っ

ぎゅっ

ありがとう
リク…っ

私も
大好きだよ…っ

それからの日々は
全てが輝いて見えた



お互いの好きな物
好きな事
将来の話：

いろいろな事を
語り合った



リク！
見て見て！

異性の宿舎への
立ち入りは普段
『ルール』で
禁止されているが



そうして
1ヶ月が
過ぎた頃…

…リク聞いた？
アベルとフランが
院を出たって話

ニナっ

僕の勉強を見る
という名目で
ニナが院長から
許可を貰ってからは

僕の部屋で
会うことも
多くなった









うん...
私の初めて
リクにもらって
欲しい...

来て...



入って...

これがリクの
おちんちん...

いいか
ニーナ...



ちゅ



大切に取って
おきなさい！

ここだけは
誰にも奪わせては
いけないぞ

私のために…

い…ッ

な…なに…
今の…

はあッ

はあッ

え…っ？
ど…どうしたの
ニーナ…？

嫌ッ



続きはまた
今度にさせて…？

う…
うん…



ご…ごめんリク
まだ心の準備が
出来てなかった
みたい…

ヘファートでは
生活するにあたって
いくつかの『ルール』が
決められている

『異性の宿舎への
立ち入り禁止』

『食事は残さず
食べる』

その中の一つが
この食堂の座席

毎月ランダムに
男女がペアで
向かい合わせに
なるよう配置され

シスター達によって
それぞれ食事が
用意される

そして今月の
僕のペアは…

ん…？

どうしたの
リク…？

いやあ…
幸運を
実感してた







うう…女子宿舎に
忍び込んだなんて
院長先生にバレたら
怒られるだろうなあ…

ペタン



扉も壁も
男子の方よりずっと
しっかりしてるし…



女子の宿舎って
こうなってるんだ…

そういえば
ニーナみたいに女子が
男子宿舎に出入りする
ことはあるけど

男子がこっちに
来たって話は
聞いたこと無いかも…



あ

…え？



中から声が…

ギョ



ここ…
ニーナの部屋…！



良い子だ
ニーナ...

今日もたっぷり
寝てやるからな

な...なに...?
これ...

まったく
屋間お前たちが
盛り出したときは
焦ったぞ

暗示を
かけておいて
正解だった

誰...?
ニーナに
一体何をして...

こらこら
駄目じゃないか…
お客様の邪魔を
しては

おお
彼はやはり
来たか

ええ…ニーナの
食事に手を付けて
いたのでもしやと
思っていました…

がッ

そのまま
縛っておけ

かしこまり
ました

何で…っ
院長先生達が…
こんなこと…!?

ふむ…予定より
少し早い
仕方がないか

好色家の中には
若い女を恋人の前で
甚振ることを
好む方々がいてな

はッ

はッ

ヘファアハットは
そういった
お客様向けに

お前たちのような
人間のつがいを育て
売るための
人身売買施設だ

子供達の中から
相性の良い男女を
引き合わせ

恋愛感情を育む様子を
プロモーションとして
お客様へ公開し…

購入された子供達は
お客様の玩具として
一生を過ごすことになる

食事に混ぜられた
薬で強制的に
発情させられ…

あの方はお前たちの
告白の様子を見て
大変気に入られてな
ああして毎晩
ニーナを
寝けられている

ぐ…っ

とっ



混濁した
意識の中

飼い主の
匂いや声を
徹底的に
刷り込まれる

ニーナの食事を
口にしたお前も
身体に変化が
あっただろう

リク



なんで…私
こんな格好で…

り…
リク…?

ニーナ…
意識が戻って…

なに…して…

記憶が
混乱しているな

薬の摂取量不足で
中途半端に
意識が戻ったか

はぁ...

はぁ...

なに...っ
やだ...

とっ

思い出させて
やろう

アッ

ん...っ

やめ...っ

ビクッ

何これ...っ
頭がパチパチって
弾けて...

ビクッ

お腹の奥が
きゅんって...

この味...
この臭い...

ん...っ

アッ

私知ってる...

ん...っ

はッ

はッ

そうだ...
最近よく見る
変な夢...



頭はボーっと
していて
はつきりとは
覚えてないけど…

誰かの声と
汗の臭い…



身体中を何かが
這い回ったり



気持ち
悪いのに

毎日毎日
刷り込まれて…



何かを舐めさせ
られたりして

身体が疼いて
力が入らない…っ

いい娘だニーナ
身体は誰が主人か
しっかり覚えてい
ようだな

キスだけで
こんなに
濡らしょって

ひひっ
相変わらず
綺麗な処女膜だな

お前の大好きな
リク君のために

ここだけは
奪わずにおいて
やっただぞ
ニーナ

お前も…

初めては
恋人に見ていて
もらいたいだろ？



ほらリクくん
しっかり見なさい

大切な恋人が
大人になった
瞬間だぞ

ひひっ
流石は男を
喜ばせる為だけに
育てられた身体だ

今処女を失った
ばかりだというのに
肉ヒダがチンポに
吸い付いてくるっ

ぐっっ
動くぞっ

痛っ！

あッ

動かない
ぞっ

お隙い！

カチ

カチ

カチ

ツハ

カチ

カチ

ひゅ

アッ

アッ

ひゅ

あッ



乳首もコリコリに
勃起させてそんなに
気に入ったか？



まったく
こんなに良い穴
あんなガキには
もったいない



ははっ
おいニーナ



あのガキ
こっちを見ながら
羨ましそうに
勃起させてるぞ

私の玩具として
壊れるまで
使ってやるからな



私のチンポの形を
しっかり覚えておけ

これからは毎日
これを気持ち良く
させることだけを
考えて生きるんだぞ

チンポ狂いになっ
ていく姿を

今度はしっかり
恋人にも
見てもらおうな

あゝ









リク…っ
大丈夫
だからね…

あらニーナ
もっとしっかり
腰を振れ

二匹揃って
処分されたいのか？

だめ…
だめ…

はぁ…

私…ちゃんと毎日
ご奉仕するから…
捨てられないように
頑張るから…

はぁ…

はぁ…

はぁ…

ひひっ
そうだそうやって
必死に媚びろ
飽きるまでは
使ってやるぞっ

はぁ…
はぁ…

はぁ…

はぁ…

そのピアスも
よく似合ってるぞ
施設じゃあこんな
お洒落はさせて
もらえなかっただろ？

はぁ…

はぁ…



お客様にも
大変満足して
頂けているようです

また使え
ください

中々良い
使い心地だったぞ
射精して貰ったら
どうするか
教えたよな？



ふむ



かしこまり
ました

次のペアも
出荷の準備を
始めておけ



そうか
それは良かった



教室の裏手…
植木の合間から光が
降り注ぐこの場所で



ここで暮らす
子供たちの間で
囁かれている
一つの噂…



想いを告げ合った
二人は



院を出た後も
生涯を共に
することが出来る…

あとがき

こんにちは、灯問(ひとい)です。

「木漏れ日の檻」を手にとって頂きありがとうございます！

今回は「寝取られるために育てられたカップル」がテーマとなっています。
普段と少し雰囲気を変えて洋風な世界観で暗示やキメセクなど
今まで同人誌で描いていない要素も入れてみました。

結果、導入が長い…！ページ数が増える…！風邪を引いて
実に3週間作業不能になっていたため原稿もかなりの修羅場でした…

ともあれ、ここまで読んで頂き本当にありがとうございました
楽しんで頂けていれば幸いです。

次回はまた現代日本を舞台に何かしら描くと思いますので
よろしくお願いします！

灯問

■奥付

発行日：2019年12月30日

製作者：灯問

連絡先：hitohikoreha@gmail.com

タイトル：木漏れ日の檻

サークル：灯色の研究室

- ・18歳未満の購入・閲覧を禁じます
- ・無断転載・アップロードを禁じます